

第3次西海市総合計画基本構想(素案)の意見に対する回答・方針等

番号	区分	項目	ご意見の要旨	市の考え方	修正案
1	B	西海市の課題について	①戻りたいと思っても仕事がない ②小規模農業とリモートワークを組み合わせた「半農半X」の仕組みづくり ③外部人材の地域受け入れの仕組みづくり ④西海市の情報発信力の弱さ ⑤長崎市と佐世保市の両方に近い立地を活かし、都市近郊型の地域を目指す	ご指摘の「仕事づくり」「情報発信」「多様な暮らし方への対応」「外部人材の受け入れ」「立地特性の活用」は、いずれも今後の西海市にとって重要な視点であると認識しています。 基本構想では、こうした方向性を「地域資源を活かしたしごとづくり」や「安心して暮らし続けられるまちづくり」の中に位置づけており、具体的な施策については、今後の基本計画策定の中で検討してまいります。 ①④については、基本目標「地域資源を活かしたしごとづくり」の「地元産業の情報発信や販路拡大を通じて就業機会を増やし、地域経済の安定と持続可能な成長を目指す」部分にすでに盛り込まれていますので、その具体的な政策については、基本計画策定の中で検討させていただきます。 ②については、基本目標「地域資源を活かしたしごとづくり」の「漁業や農業、水産加工など第一次産業の魅力ややりがい高め、移住者(ターン・Jターン)やUターン者を受け入れながら、地域の仕事を次世代につなげていきます」という部分に盛り込まれていますので、その具体的な政策については、基本計画策定の中で検討させていただきます。 ③については、基本目標「安心して暮らし続けられるまちづくり」の「高齢者から子育て世代まで、障害のある人や外国人も含め、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します」という部分に盛り込まれていますので、その具体的な政策については、基本計画策定の中で検討させていただきます。 ⑤については、今回お示しした「基本構想(案)」の達成および実現のための具体的な施策をお示しする「基本計画」策定の中で参考とさせていただきます。	
2	B	将来像について	西海市民一人一人が子どもたちを育む主体であることを認識してもらうために、市民総出で意識つけるフレーズがあったらいいのではないかと思った。	ご意見のとおり、子どもたちを地域全体で育むという視点は重要であると考えています。一方で、基本構想では、子どもに限らず、多様な主体がともに支え合い、育み合うまちの姿を表現することを重視し、「多様な主体がともに支え合い、ともに育み合うことで、人を育み、未来を育むまちを目指します」としています。具体的な政策については、基本計画策定の中で検討させていただきます。	
3	C	全体を通して	基本構想は、今後10年間の西海市の方向性を市民と共有する大切な部分であるため、より見やすく、伝わりやすい工夫が必要だと思う。例えば、箇条書き、色分けした枠、見出しの強弱、文字の大きさや色の工夫、図解や簡単なロードマップなどを取り入れ、視覚的に理解しやすい基本構想になることを望む。 また、中長期的な視点から、どの領域から重点的に力を入れているのか、何を基盤として次世代につなげていくのかを伝える構成になるとよい。	基本構想は市民の皆様と方向性を共有する重要な文書であり、ご指摘の通り、わかりやすく伝える表現が必要であると認識しております。そのため、基本構想においては、将来像・基本目標という構成を設けることで、まちづくりの方向性が段階的に伝わるよう整理しています。 いただいたご意見を踏まえ、基本構想の体裁について、見出しの強弱や色分けなど、視覚的にわかりやすい構成となるよう検討します。 また、どの領域から重点的に力を入れていくのかについては、現在検討中であり、基本計画を策定する中で示していくこととしています。	基本構想の体裁について、見出しの強弱や色分けなど、視覚的にわかりやすい構成となるよう検討します。
4	A	将来像について	「若い世代が一度市外へ出ても」の前に「若い世代が郷土に残り活躍できる環境を整えとともに」を加筆し、「一度市外へ出ても」につなげる。	「若い世代が一度市外へ出ても将来帰ってきたい、関わり続けたいと思えるまち」になるのかを具体的に示すため、ご指摘のとおり、「郷土で活躍できる環境を整え」を加筆します。	「若い世代が」と「一度市外へ出ても」の間に「郷土で活躍できる環境を整え、」を加筆します。
5	F	基本構想について	「ともに育むまち♡SAIKAI」を「ともに育むまち♡さいかい」もしくは「ともに育むまち♡西海」にと思う。	ご提案の『さいかい』や『西海』も親しみやすい表記として受け止めています。今回の将来像では、『SAIKAI』という表記に込めた思いとして、出会いと愛のAIが二つあるまちというキャッチフレーズとの一体感や、外国人転入者も多い西海市の国際的な広がりを表現したいと考えており、現在の表記のままにしたいと考えております。	
6	A	基本目標 (西海の未来をつくるひとづくり)	「健康寿命」は最近提言されているものと理解するが、貢献しなければ、貢献できなければ、との意味合いになるのではと感じるので、現計画にあるように「市民一人ひとりが健康づくりに高い意識を持ち、健康寿命を延ばすとともに、誰もがお互いにその人らしさを認めながら活躍できる」ような表現を望む。	「貢献寿命」という表現については、受け止め方に幅があることも踏まえ、ご指摘の趣旨に配慮が必要であると考えています。そのため、本構想では注釈を付すことで言葉の意味を丁寧に示し、誰もがその人らしく地域や社会と関わりながら生きるという趣旨が伝わるようにしたいと考えています。	注釈：本計画における「貢献寿命」とは、年齢や障害の有無にかかわらず、一人ひとりが地域や社会とのつながりの中で、その人らしい形で役割や生きがいを持ち、誰かを支えたり喜ばせたりしながら生きる期間を指します。

対応内容	件数
A ・案に修正を加え反映させたもの	2件
B ・案にすでに盛り込まれているもの	2件
C ・案の考え方や姿勢に合致し、今後実施の中で反映させていくもの	1件
D ・今後検討していくもの	0件
E ・反映が困難なもの	0件
F ・その他 (ご提案、ご意見として承るもの等)	1件
	6件